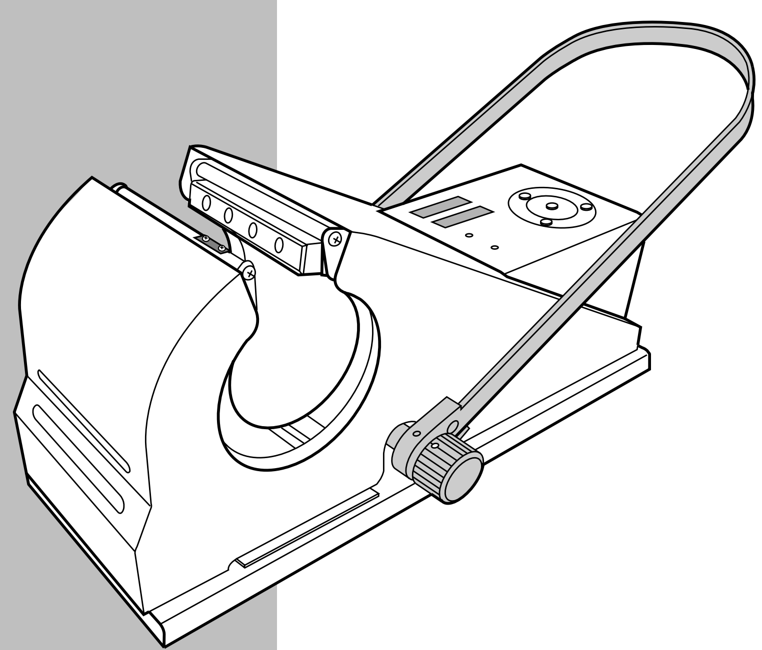
CUPMAN

Mugcup Press MP-700M

カップマン

取扱説明書



製造・発売元/**太陽精機株式会社ホリゾン事業部**
〒180-0005　東京都武蔵野市御殿山1-6-4
TEL 0422 (48) 5119(代)　FAX 0422 (48) 5009
京都事業所
〒601-8204　京都市南区久世東土川町242
TEL 075 (921) 9225　FAX 075 (921) 9217
オリジナルプリントホームページ：http://www.taiyoseiki.com

110901/CUPMAN/09J/KM

UM107067-09

まえがき

　この取扱説明書は「カップマン」の高機能を活用するためのガイドブックです。すでにプレス機で経験をお持ちの方も、再確認のためにお役にたつものにまとめました。
　「カップマン」を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読み下さい。万一ご使用中に分からないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお手元でお役にたちます。

　研究改良の結果、取扱説明書の中に、お買い上げの製品と細部で異なる場合もあります。製品またはこの取扱説明書の内容についてご質問がおありのときは、下記までお問い合わせ下さい。

●操作上のご質問・ご相談は下記までご連絡下さい。

太陽精機株式会社ホリゾン事業部
〒180-0005　東京都武蔵野市御殿山1-6-4
TEL 0422 (48) 5119(代表)　FAX 0422 (48) 5009
京都事業所
〒601-8204　京都市南区久世東土川町242
TEL 075 (921) 9225　FAX 075 (921) 9217
オリジナルプリントホームページ：http://www.taiyoseiki.com

●技術的なご相談は下記のホリゾン事業部担当者までご連絡下さい。

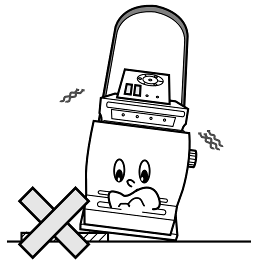
太陽精機株式会社
〒520-1501 滋賀県高島市新旭町旭字城ノ下1600
TEL　　0740（25）4567（代表）
FAX　　0740（25）6301

目次

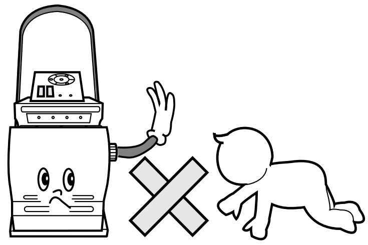
1. ご使用の前に

1-1　設置のご注意

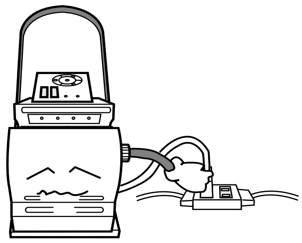
● 床や土台が不安定な場所への設置はしないでください。
転倒や故障の原因になります。
（平らで丈夫な場所へ設置してください。また、ヒーター部を横に動かすので障害物がないところに設置してください。）



● 幼児の手の届かない場所に設置してください。

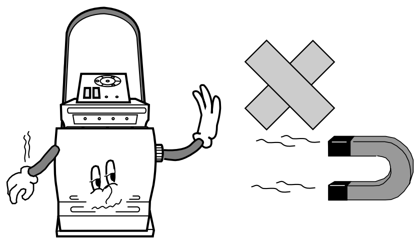


● 電源は必ず専用コンセントを使用し、テーブルタップは使用しないでください。

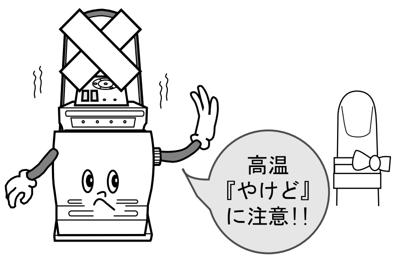


● 電源コードの上に重いものをのせないでください。火災や感電の原因になります

● 強い磁気を発生する器具の近くに置かないでください。誤動作することがあります。

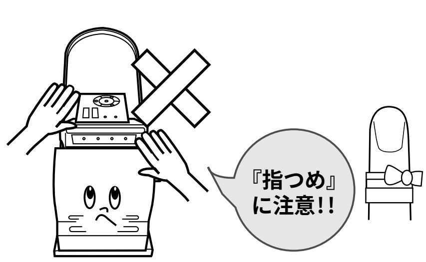


● ヒーターやその周辺は高温ですので『やけど』に注意してください。



● 操作は必ず一人で行なってください。「ケガ」をする恐れがあります。

● プレスするときは可動部に指などをはさまないよう注意してください。

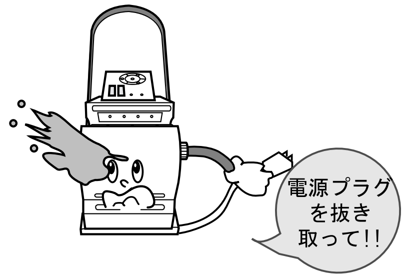


1-2　使用上のご注意

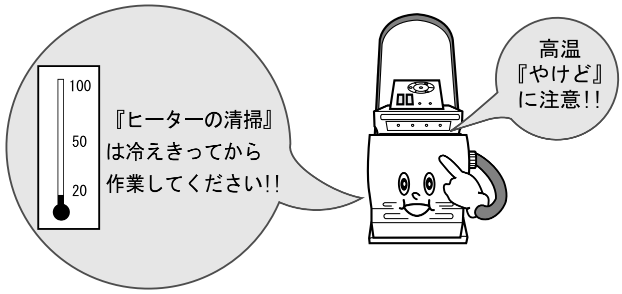
● プレスしたまま放置しないでください。故障や火災の原因になります。
　タイマーの終了後、ブザーによる警告が約1分続きます。その後、ヒーターへの通電を停止します。プレスを解除すれば、通常状態に戻ります。



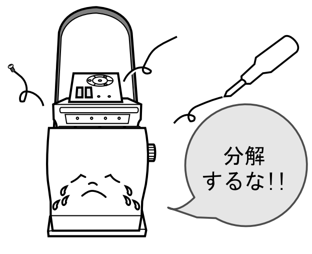
● 本機に液体がかかったときは、ただちに電源プラグを抜き、ふき取って下さい。
また、内部に入ったときは、ご購入店に点検、修理をご相談下さい。この状態で使用を続けると、感電や故障の原因になります。



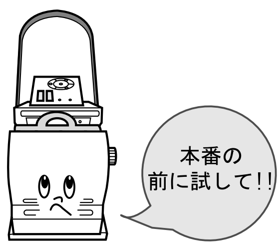
● ヒーター面の清掃は、電源を切り、本機が充分冷えたことを確認してから行なってください。



● 分解や改造は絶対にしないでください。

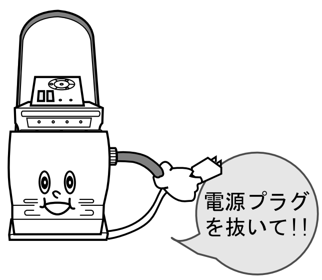


● 現物でプレスする前に、必ず試し用カップ等を使ってテストしてください。



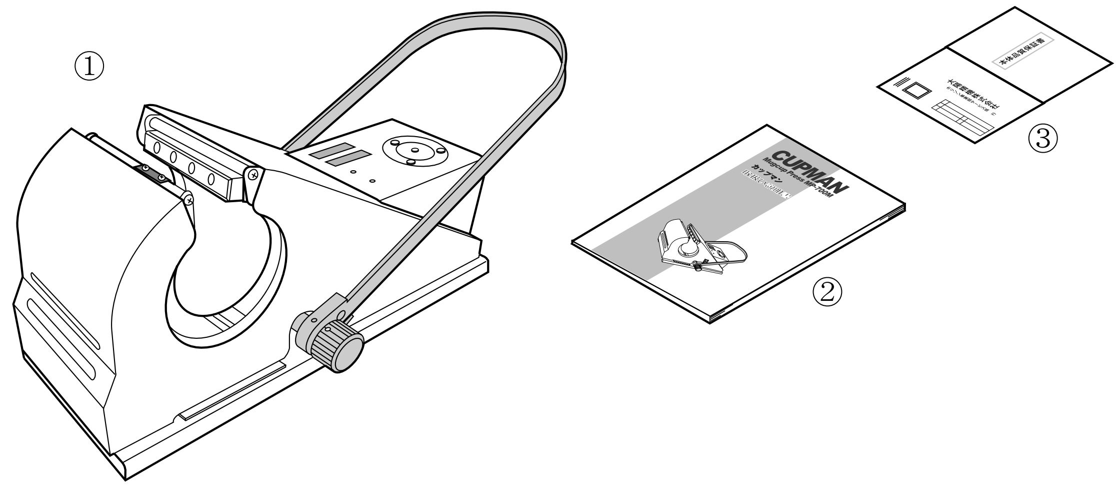
● 異常な発熱や煙が出たときはただちに電源を切ってください。安全を確認してから電源を入れてください。

● 長期間ご使用にならないときは、プラグをコンセントから抜いてください。



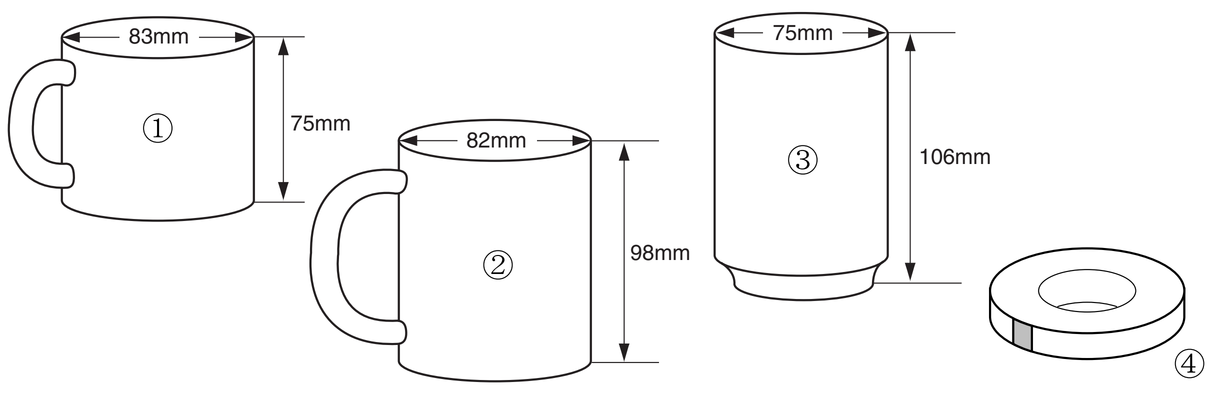
1-3　カップマンのセット内容

【セット内容】



① カップマン本体 1台
② 取扱説明書 1冊
③ 保証書 1枚

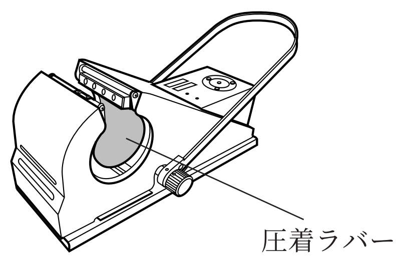
【オプション】



① マグカップ小　(直径 83㎜ × 75㎜)
② マグカップ大　(直径 82㎜ × 98㎜)
③ 湯のみ　　　　(直径 75㎜ × 106㎜)
④ ヒートテープ（幅9.3㎜ × 1巻）

【補修（部品）】

・圧着ラバー貼り替え
＊圧着ラバーが磨耗したときには、貼り替えが必要です。
(P.16参照)



1-4　カップマンの仕様

ヒーターサイズ	115 ㎜ x 240 ㎜
タイマー調整範囲	1 秒〜 9 分 59 秒
ヒーター温度調整範囲	100 ℃ 〜200 ℃
電　　源	100V　3.6A　50/60 Hz
消費電力	350　W
機械寸法	245 ㎜（幅） X 585 ㎜（奥行き） X 230 ㎜（高さ）（取手含めず）
質　　量	約 13 kg

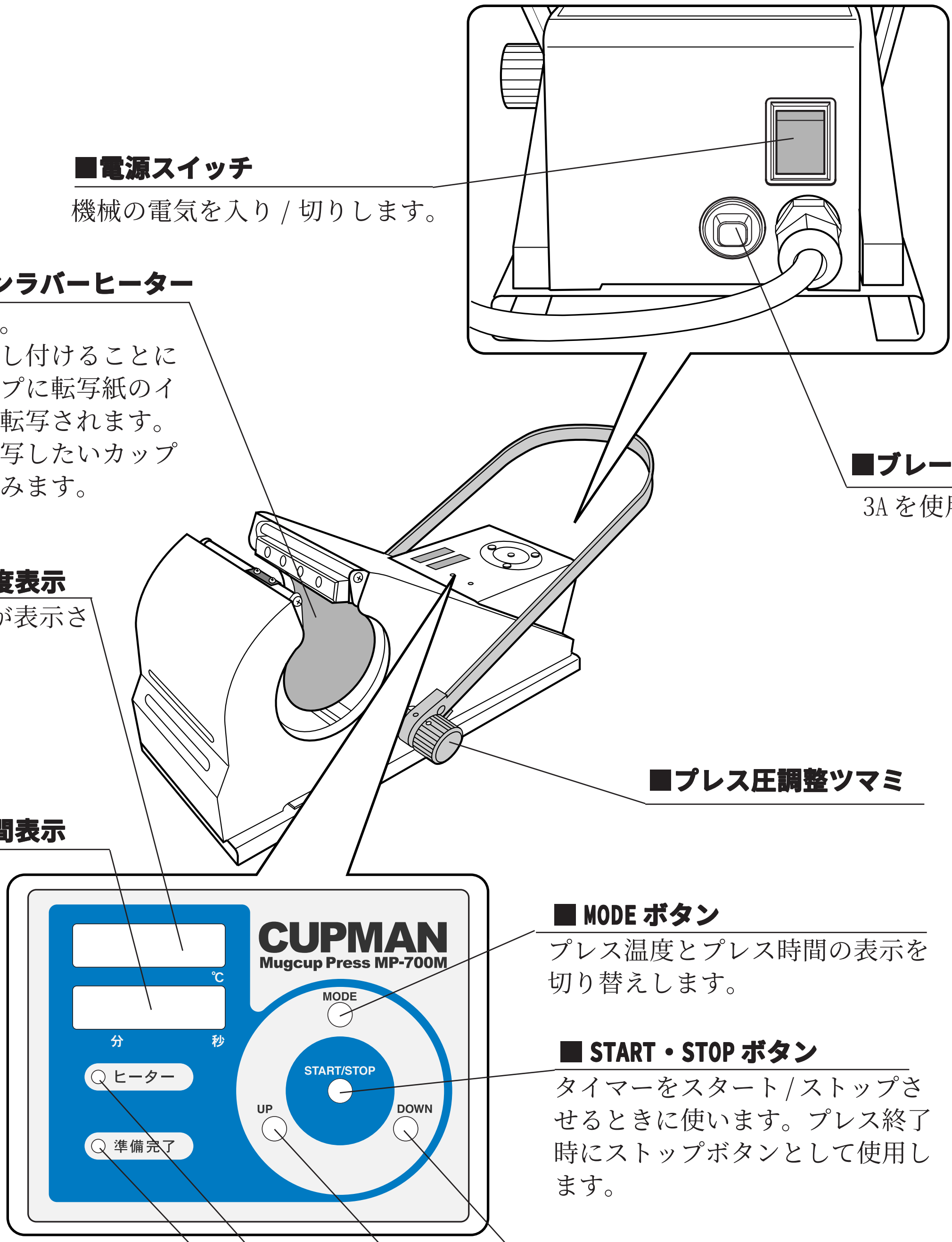
1-5　各部の名称とはたらき

■電源スイッチ
機械の電気を入り / 切りします。

■シリコンラバーヒーター
熱源です。
これを押し付けることによりカップに転写紙のイラストが転写されます。
ここに転写したいカップをさし込みます。

■ブレーカ
3A を使用

■プレス温度表示
プレス温度が表示されます。



■プレス圧調整ツマミ

■プレス時間表示

■ MODE ボタン
プレス温度とプレス時間の表示を切り替えします。

■ START・STOP ボタン
タイマーをスタート / ストップさせるときに使います。プレス終了時にストップボタンとして使用します。

■準備完了ランプ
設定されたプレス温度にヒーター温度が達すれば点灯します。

■ DOWN ボタン
プレス温度あるいはプレス時間の設定を変更するときに使います。

■ヒーターランプ
ヒーターの加熱中にランプが点灯します。

■ UP ボタン
プレス温度あるいはプレス時間の設定を変更するときに使います。

1-6　設置のしかた

⚠警告

- 幼児の手の届かない場所に設置してください。

⚠注意

- カップマンの質量は約 13kg です。水平で本機の質量を考慮した場所に設置してください。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿になる場所はさけてください。

ポイント

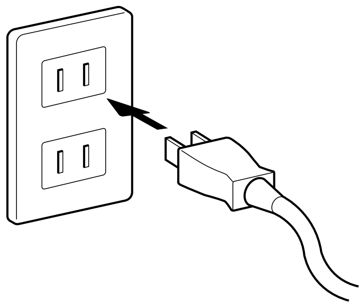
- 本機の設置スペースは横 245 ×奥行き 665 ×高さ 500㎜ です。
- ハンドル部を上側にスイングさせることを考慮して、障害物がない場所に設置してください。
- 消費電力は 360w です。電源容量を配慮したコンセントを使用してください。

2. 基本操作

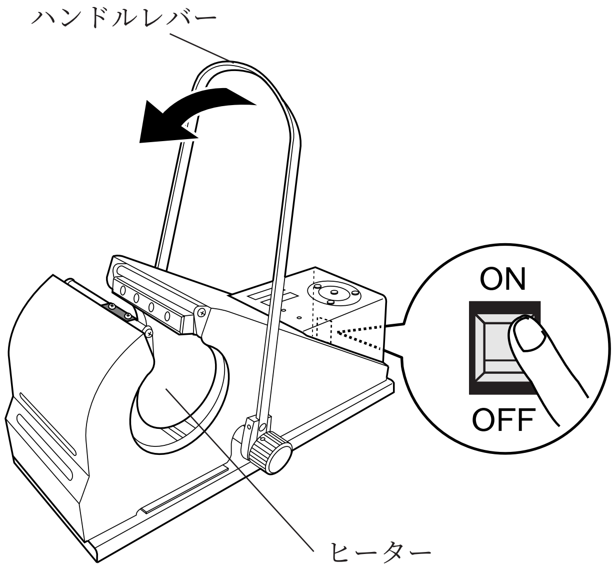
2-1　基本操作の手順

⚠警告

・操作は必ず一人で行なってください。ケガをする恐れがあります。
・ ヒーターやその周辺は高温なので触れないでください。やけどをする恐れがあります。
・ 電源は必ず専用コンセントを使用し、タコ足配線はしないでください。感電や火災の原因になります。



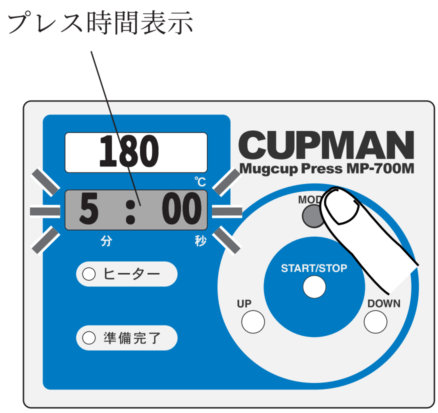
1. ハンドルレバーが上がっていることを確認してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



2. 電源スイッチを入れてください。

注意

・ ヒーターが加熱しはじめます。



3. プレス時間の設定を行ないます。

① MODE ボタンを１回押して、下段のプレス時間表示を点滅状態にしてください。現在設定されている数値が点滅表示されます。

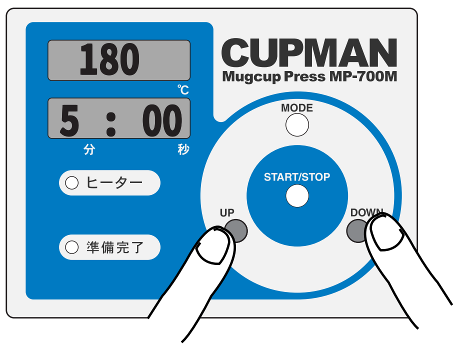
② UP または DOWN ボタンで任意の時間に設定してください。

・ ２秒以上ボタンを押し続けると、数字は早送りされます。

・ 時間は９分 59 秒まで設定できます。

・ 転写シートの材質により、プレス時間は異なりますので、「4-1 プレス条件」を参照してください。

③ MODE ボタンを押してプレス時間設定を完了してください。



2-1　基本操作の手順

4. プレス温度の設定を行ないます。

① MODE ボタンを２回押して、上段のプレス温度表示を点滅状態にしてください。
- 現在設定されている数値が点滅表示されます。

② UP または DOWN ボタンで任意の温度に設定してください。
- ２秒以上ボタンを押し続けると、数字は早送りされます。
- 転写シートの材質により、プレス温度は異なりますので、「4-1 プレス」条件を参照してください。

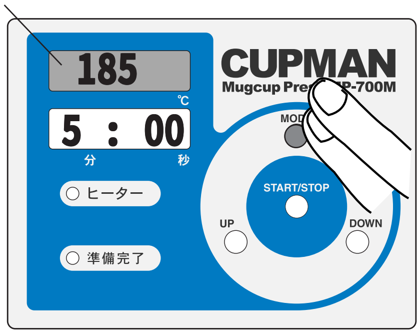
③ MODE ボタンを押して、プレス温度設定を完了します。
- 表示は設定値から現在のヒーターの温度に変わります。

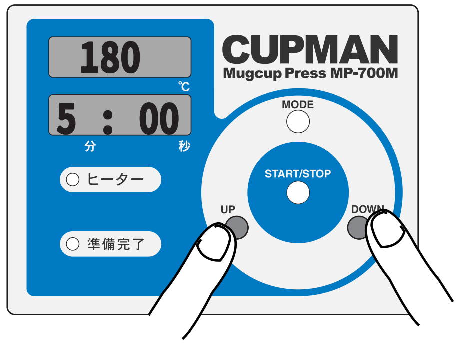
- ヒーターの温度が設定値になれば緑の“ 準備完了 ”ランプがつきプレス作業をはじめることができます。

⚠ 警告

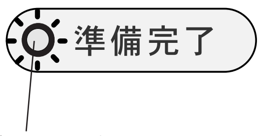
!	• **ヒーター温度は最高 200℃まで上昇します。その温度に耐えうるテープを御使用ください。**

プレス温度表示







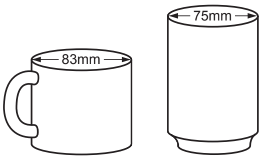


緑ランプ

2-1　基本操作の手順

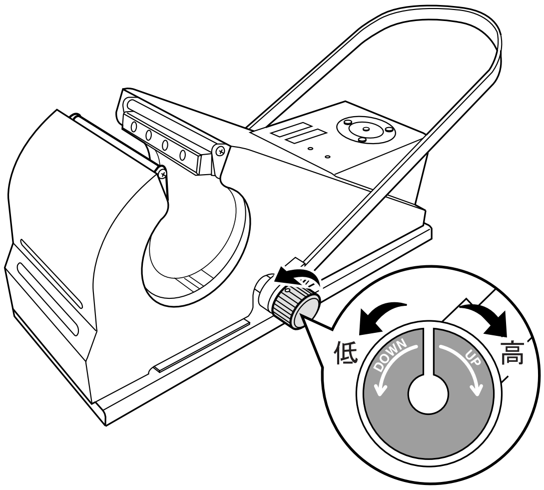
5. プレス圧の設定を行ないます。

当社製のマグカップと湯のみの直径



- それ以外のマグカップ（湯のみ）をご使用になるときは、カップの直径に合わせてヒーターの径を調整してください。

- 直径の小さいカップをプレスするときは、調整ツマミを時計方向に回してください。ヒーターの径が小さくなります。 直径の大きいカップをプレスするときは、調整ツマミを反時計方向に回してください。ヒーターの径が大きくなります。

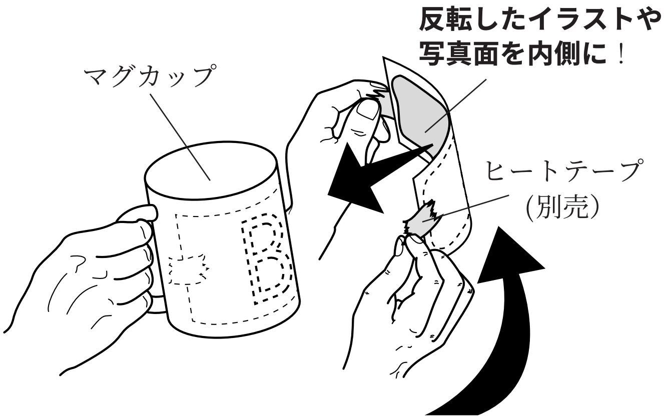


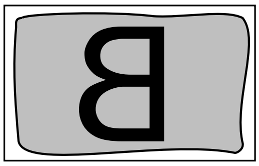
6. 転写したいカップに“**転写したい面を内側にして**”ヒートテープ（別売）で端を止めてください。

注記

・ 絵や文字は、反転出力したものを使用してください。

・マグカップと転写紙の間に隙間がないようにしてください。
・転写紙にしわが入らないように ヒートテープ（別売）でしっかり固定してください。

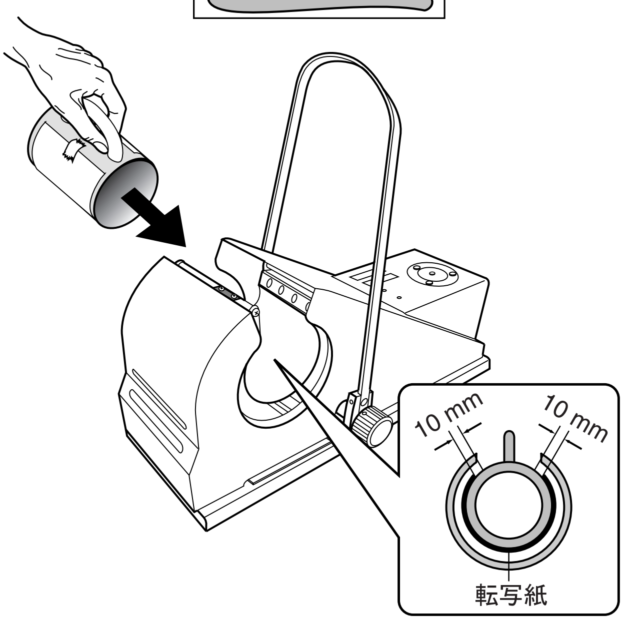




7. “**転写紙を貼った部分が下になるように**”ヒーター部に挿入してください。また、電源スイッチの方にカップの口が来るように挿入してください。

ポイント

・ 転写紙がクランプの端から10㎜以上は内側へくるようにセットしてください。

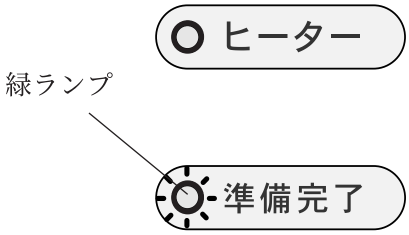


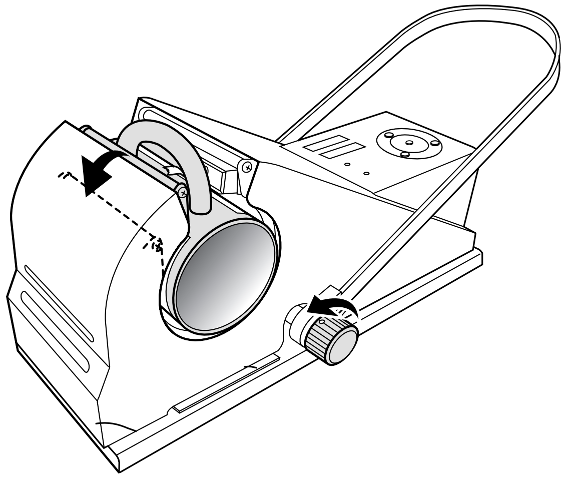
⚠警告	
❗	**・ハンドルレバーを押し下げるときは、可動部に、指などをはさまないよう注意してください。指をはさみますと、ケガの恐れがあります。**

2-1　基本操作の手順

8. 緑の“準備完了”ランプが点灯していることを確認してから、ハンドルレバーを押し下げてください。

- ハンドルレバーを押し下げたとき、ヒーターがカップにプレスされます。もし、ハンドルレバーを押し下げたときの力が軽すぎる場合は、ヒーターの径が大きすぎます。手順 5 に戻り、ヒーターの径を小さくしてください。

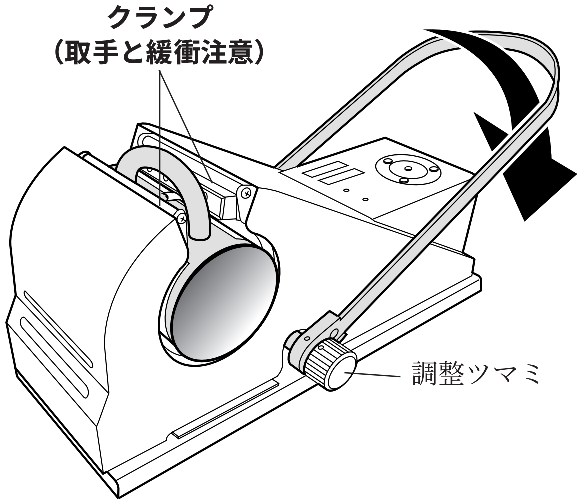




注意

・ マグカップの場合はハンドルを下げたとき、クランプが取手に当たらないよう注意して下さい。**取手が折れることがあります。**

・ プレスした時に表示温度が前後する(± 10℃前後)現象が起きることがありますが、異常ではなくヒーターの温度にも影響はありません。

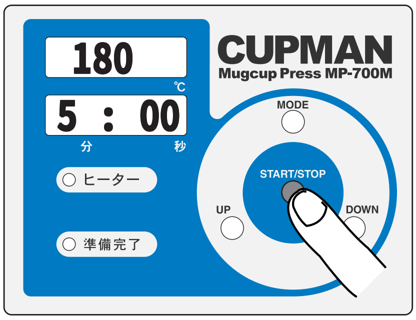


注意

設定温度が設定温度から -1 ～ +5 以上離れると緑の“準備完了”ランプが消えます。緑の“準備完了”ランプが消えているときにプレスした場合、警告ブザーがなります。このようなときはプレスレバーを上げ、緑の“準備完了”ランプが点灯するのをまち、再度プレスしてください。

2-1　基本操作の手順

9. プレスをはじめるにはSTARTボタンを押します。



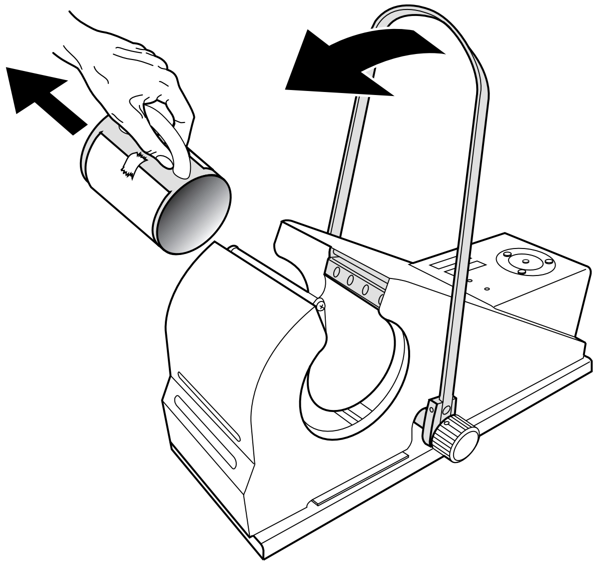
注意

・ハンドルレバーを下げたままSTARTボタンを押さなければプレスタイマーはスタートしません。必ずハンドルレバーを下げた後、STARTボタンを押してください。

- プレスをはじめてから設定時間になれば、ブザーがなります。

10. ブザーを解除するには、ストップボタンを押してください。

11. ハンドルレバーを持ち上げ、転写されたカップを取り出してください。



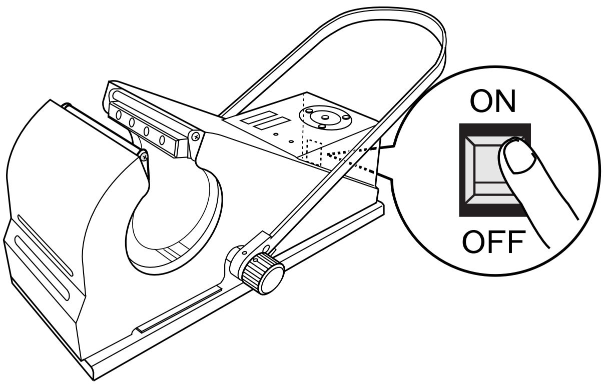
注意

・大変カップが熱くなっていますので、取り出しは十分注意してください。

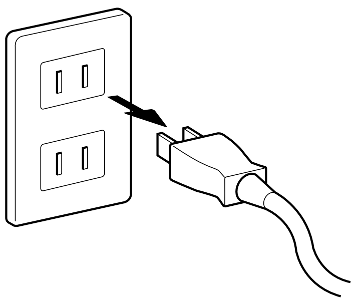
12. 転写紙を剥がしてください。

13. 同じプレス条件で作業を続けるときは手順5から行なってください。また、プレス条件を変えて作業を続けるときは、手順3に戻り、プレス時間・プレス温度設定を再度行なってください。

14. 作業が終われば電源スイッチを切にしてください。

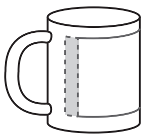
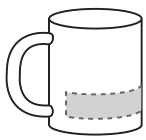


15. 長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



3. 故障と思われる前に

3-1　故障と思われる前に

原因	確認事項 / 対策
●ヒーターが熱くならない	・電源プラグを確実に差し込んでいるか確認してください。 ・ブレーカのボタンがとび出していないか確認してください。とび出している場合は、電源スイッチを OFF にして、ボタンを押し込んでください。 ・温度設定値を確認してください。
●カップ（素材）が汚れる	・電源スイッチを切にして、ヒーターが充分冷えてから、ヒーター面を布で拭いて清掃してください。
●色の濃淡がある	・プレス温度を 10℃上げてください。 ・プレス時間を長くしてください。
●色がにじむ	・プレス温度が高すぎます。下げてください。
●転写できない部分がある	・プレス圧調整ツマミを 90 度時計方向に回して、プレス圧を高くしてください。
●絵柄の端の部分が上手く転写されない 	・転写紙がクランプの端から 10㎜ 以上内側にくるようにセットされているか確認してください。
●マグカップの下方部分がうまく転写されない 	・マグカップを入れる方向が間違っている可能性があります。マグカップの口の方を電源スイッチの方に向けて挿入してください。
●きれいに転写できない	・プレス温度設定・プレス時間設定が正しいか確認してください。 ・転写紙が裏返しになっていないか確認してください。 ・転写紙とカップ表面に隙間がないか確認してください。 ・ヒーターが充分なプレス圧で押し付けられているか確認してください。プレス圧の調整が必要なときは、P.12 を参照して再調整を行なってください。 ・圧着ラバーがやぶれたりはがれたりしたら、貼り替えをおすすめします。販売店・当社に連絡の上、プレス機本体を返却してください。（圧着ラバーは消耗品のため、保証対象外です。）
●プレス時間表示が、プレススタートしても変わらない	・START ボタンを押しているか確認してください。

4. 付録

4-1　プレス条件

当社製マグカップ（湯のみ）に当社製の昇華インクで出力した転写紙を使ってプレスする場合のプレス温度、プレス時間の推奨条件です。

プレス温度	プレス時間
180℃	5分

